別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基　本　計　画		
事　項	記　入　欄	備　考
計画の区分	研究科の専攻の設置	
フリガナ 設置者	ガッコウホウジン　ニッポンタイイクダイガク 学校法人　日本体育大学	
フリガナ 大学の名称	ニッポンタイイクダイガクダイガクイン 日本体育大学大学院（Graduate School of Nippon Sport Science University）	
大学本部の位置	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
大学の目的	日本体育大学大学院は、体育及びスポーツ、教科教育並びに保健医療に関する高度の学術研究により、その深奥をきわめ、学術の応用に貢献して競技力向上、教科教育の実践並びに保健医療に関する研究を推進とともに、高度な学識と研究能力を持った専門家の養成と、社会の多様な分野で活躍し得る人間の育成を目標とし、スポーツ文化の発展、新たな教科教育学の構築並びに保健医療の推進と人類の友好・親善に貢献することを目的とする。	
新設学部等の目的	運動器柔道整復学専攻は、柔道整復に関する高度の学術研究により、その深奥をきわめ、学術の応用に貢献して柔道整復領域の臨床研究を推進するとともに、柔道整復師の社会的役割を創造し、運動器疾患に対する柔道整復術や予防、運動器の抗老化(アンチエイジング)に取組み、健康寿命の延長を図る人材の養成を目標とし、柔道整復領域の学術的基盤の構築と人類の友好・親善に貢献することを目的とする。	

新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	備考
	保健医療学研究科 [Graduate School of Medical and Health Science] 運動器柔道整復学専攻 （博士課程） [Doctoral Program in Judo Therapy]	年 3	人 2	年次人 —	人 6	博士 （柔道整復学） 【Doctor of Philosophy in Judo therapy】	年　月 第　年次 平成32年4月 第1年次	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	【基礎となる学部等】 保健医療学部 整復医療学科 保健医療学研究科 保健医療学専攻 14条特例の実施
	計		2	—	6				

同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	【当該申請以外の申請等】 保健医療学研究科救急災害医療学専攻 博士課程（2）（平成31年3月認可申請）

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
	保健医療学研究科 運動器柔道整復学専攻 （博士課程）	11科目	8科目	1科目	20科目	16単位	

教員組織の概要		学部等の名称	専任教員等 教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等	備考
	新設分	保健医療学研究科 運動器柔道整復学専攻 （博士課程）	5 (5)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	平成31年3月認可申請
		保健医療学研究科 救急災害医療学専攻 （博士課程）	8 (8)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	
		計	13 (13)	9 (9)	1 (1)	1 (1)	24 (24)	0 (0)	— (—)	
	既設分	体育科学研究科 体育科学専攻（博士前期課程）	21 (21)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	27 (27)	0 (0)	9 (9)	
		体育科学研究科 体育科学専攻（博士後期課程）	15 (15)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	1 (1)	
		体育科学研究科 コーチング学専攻（博士前期課程）	9 (9)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	4 (4)	
		体育科学研究科 コーチング学専攻（博士後期課程）	6 (6)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	2 (2)	
		教育学研究科 実践教科教育学専攻(博士前期課程)	12 (12)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	
		教育学研究科 実践教科教育学専攻(博士後期課程)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	
		保健医療学研究科 保健医療学専攻(修士課程)	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	3 (3)	
		計	58 (58)	16 (16)	0 (0)	1 (1)	75 (75)	0 (0)	— (—)	
		合計	64 (64)	22 (22)	1 (1)	2 (2)	89 (89)	0 (0)	— (—)	

教員以外の職員の概要	職種	専任	兼任	計	
	事務職員	88 (88)	42 (42)	130 (130)	
	技術職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	図書館専門職員	6 (6)	0 (0)	6 (6)	
	その他の職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	計	94 (94)	42 (42)	136 (136)	

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	126,410.53㎡	0㎡	0㎡	126,410.53㎡	
	運動場用地	84,055.66㎡	0㎡	0㎡	84,055.66㎡	
	小計	210,466.19㎡	0㎡	0㎡	210,466.19㎡	
	その他	56,867.13㎡	0㎡	0㎡	56,867.13㎡	
	合計	267,333.32㎡	0㎡	0㎡	267,333.32㎡	

校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	67,984.04㎡ (67,984.04 ㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	67,984.04㎡ (67,984.04 ㎡)	

教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	74室	40室	66室	4室 （補助職員 0人）	0室 （補助職員 0人）	大学全体

専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	保健医療学研究科運動器柔道整復学専攻(博士課程)	12 室	

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	保健医療学研究科 運動器柔道整復学専攻 (博士課程)	6,721〔170〕 (6,211〔152〕)	65〔8〕 (65〔8〕)	41〔7〕 (41〔7〕)	56 (56)	2,379 (2,379)	29 (29)	保健医療学研究科（修士課程・博士課程）は保健医療学部図書館と共用 大学全体の共用分 図書：519,758(138,392) 学術雑誌：6,768(1,38) 電子ジャーナル： 10,661(9,381)
	計	6,721〔170〕 (6,211〔152〕)	65〔8〕 (65〔8〕)	41〔7〕 (41〔7〕)	56 (56)	2,379 (2,379)	29 (29)	「機械・器具」、「標本」は大学（保健医療学部）全体の数

図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	3,128㎡	711席	562,000冊	

体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	42,845.64㎡	野球場、サッカー場、ラグビー場、陸上競技場、温水プール、テニスコート、ゴルフ教場、ビーチバレーコート	大学全体

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
経費の見積り	教員１人当り研究費等		750千円	750千円	750千円	—	—	—	教員1人当りの研究費等について、研究科単位での算出不能なため、学部との合計。
	共同研究費等		600千円	1,000千円	1,400千円	—	—	—	
	図書購入費	500千円	200千円	200千円	200千円	—	—	—	図書購入費には、電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。
	設備購入費	16,641千円	11,588千円	2,000千円	2,000千円	—	—	—	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,110千円	810千円	810千円	— 千円	— 千円	— 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金

	大学の名称	日本体育大学								
既設大学等の状況	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	体育学部						1.03			
	体育学科	4	750	—	3,000	学士（体育学）	1.04	昭和24年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	平成29年度より学生募集停止
	健康学科	4	195	—	780	学士（体育学）	1.00	昭和37年度		
	武道学科	—	—	—	—	学士（体育学）	—	昭和40年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	
	社会体育学科	—	—	—	—	学士（体育学）	—	昭和50年度		平成30年度より学生募集停止
	スポーツ文化学部						1.03			
	武道教育学科	4	100	—	300	学士（体育学）	1.02	平成29年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
	スポーツ国際学科	4	100	—	300	学士（体育学）	1.04	平成29年度		
	スポーツマネジメント学部						1.03			
	スポーツマネジメント学科	4	145	—	290	学士（体育学）	1.04	平成30年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	
	スポーツライフマネジメント学科	4	110	—	220	学士（体育学）	1.01	平成30年度		
	児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科	4	200	—	800		1.03			
	児童スポーツ教育コース	4	150	—	600	学士（児童ｽﾎﾟｰﾂ教育学）	1.03	平成25年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
	幼児教育保育コース	4	50	—	200	学士（児童ｽﾎﾟｰﾂ教育学）	1.00	平成25年度		
	保健医療学部						1.03			
	整復医療学科	4	90	—	360	学士（整復医療学）	1.05	平成26年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	
	救急医療学科	4	80	—	320	学士（救急医療学）	1.01	平成26年度		

	大学の名称	日本体育大学大学院								
既設大学等の状況	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	体育科学研究科									
	体育科学専攻（博士前期課程）	2	25	—	50	修士（体育科学）	1.18	昭和60年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
	体育科学専攻（博士後期課程）	3	6	—	18	博士（体育科学）	1.83	平成9年度		
	コーチング学専攻（博士前期課程）	2	12	—	24	修士（コーチング学）	1.45	平成30年度		
	コーチング学専攻（博士後期課程）	3	3	—	6	博士（コーチング学）	1.66	平成30年度		
	教育学研究科									
	実践教科教育学専攻（博士前期課程）	2	20	—	40	修士（教育学）	0.30	平成29年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
	実践教科教育学専攻（博士後期課程）	3	5	—	15	博士（教育学）	1.93	平成29年度		
	保健医療学研究科									
	保健医療学専攻（修士課程）	2	8	—	16	修士（柔道整復学） 修士（救急災害医療学）	0.99	平成30年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	

附属施設の概要	名　　称：体育研究所 目　　的：体育・スポーツに関する研究 所 在 地：東京都世田谷区深沢七丁目1番1号 設置年月：昭和37年4月 規 模 等：242.37㎡（オリンピックスポーツ文化研究所、スポーツ危機管理研究所と共用） 名　　称：スポーツ・トレーニングセンター 目　　的：学生の体力向上及びトップアスリートの競技力向上 所 在 地：東京都世田谷区深沢七丁目1番1号 　　神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1 設置年月：昭和39年2月 規 模 等：990.56㎡（東京・世田谷キャンパス　スポーツ棟１階） 　　1,874.24㎡（横浜・健志台キャンパス　百年記念館１階） 名　　称：オリンピックスポーツ文化研究所 目　　的：オリンピックの研究を通じて広く世界の福祉に貢献し本邦のスポーツ文化を牽引する 所 在 地：東京都世田谷区深沢七丁目1番1号 設置年月：平成27年4月 規 模 等：242.37㎡（体育研究所、スポーツ危機管理研究所と共用） 名　　称：日本体育大学スポーツキュアセンター横浜・健志台接骨院 目　　的：保健医療学部における教育及び研究に係る施術の場として機能するとともに柔道整復師による施術の提供等を通して柔道整復の発展に寄与する 所 在 地：神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1 設置年月：平成27年10月 規 模 等：176.83㎡ 名　　称：ハイパフォーマンスセンター 目　　的：オリンピアン・パラリンピアンを輩出・育成するための学生アスリート支援システムの活動を展開する 所 在 地：神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1 設置年月：平成29年4月 規 模 等：76.23㎡（コーチングエクセレンスセンターと共用） 名　　称：コーチングエクセレンスセンター 目　　的：本学学生アスリートの競技力向上及び教育者として人間性の向上を目指した支援等を行う 所 在 地：神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1 設置年月：平成29年4月 規 模 等：76.23㎡（ハイパフォーマンスセンターと共用） 名　　称：スポーツ危機管理研究所 目　　的：体育及びスポーツの現場から重大事故・暴力・ハラスメント等人権侵害に関する諸問題の解決を図る 所 在 地：東京都世田谷区深沢七丁目1番1号 設置年月：平成30年4月 規 模 等：242.37㎡（体育研究所、オリンピックスポーツ文化研究所と共用） 名　　称：日本体育大学クリニック 目　　的：診療並びに教育・研究への協力、アスリートのメディカルサポート及び地域医療への貢献 所 在 地：東京都世田谷区深沢七丁目1番1号 設置年月：平成30年12月 規 模 等：261.2㎡	

（注）
1　共同学科等の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
2　「教員組織の概要」の「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとすること。
3　私立の大学又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
4　大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」，「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
5　「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
6　空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。